



地域を育み、大陸をつなぐ
2010-2011 年度 RI テーマ
RI 会長 レイ・クリンギンスミス
地区ガバナー 米田 眞理子



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1623 回例会 平成 22 年 7 月 12 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F 「クラブ協議会」

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. お客様紹介
ガバナー補佐 塩路 良一様(御坊 RC)
4. ビジター紹介
トミー・ミタ様(フィリピン タグラビン RC)
5. 出席報告
会員総数 68 名 出席者数 48 名
出席率 70.59% 前回修正出席率 83.82%

6. 会長スピーチ



会長 谷脇 良樹 君
みなさんこんにちは。先週に引き続きまして、塩路ガバナー補佐には大変ご苦労までございます。このあとよろしく申し上げます。ビジターのトミー・ミタ様、よくお越し下さいました。

昨日は参議院選挙、みなさん投票に行かれたと思います。投票所で一番に投票したら投票箱の中を確認するという事は知っておられると思いますが、それがやりたくて若い時に一番を狙って何回か言ったのですが、うちの方にはそのマニアがおってあきらめてやめておりましたが、今年の総選挙の時に投票所も変わったので少し早く行くと、なんかの拍子で一番となり念願の箱の確認をしてきました。昨日はもうゆっくりと行ってきましたけれど。

野村吉三郎さんを知っておりますか、見渡しますと半数以上の方はご存知という年齢と見受けませんが。先月の新旧理事の引継ぎの時に中村雅行さんの向かいに座った時に、東京の和歌山県の学生寮の話から出てきたのですが、横に座っていた岸さんは、今日はみえていませんが、「知らん」ということですが、私とそんなに年も離れてないように思ったのですが、一方はだいぶはなれているような感じのようでした。

私が中学生時代に県選出の参議院議員で、現職で亡

くなられたと思います。和歌山生まれの海軍軍人、外務大臣、そして有名なのは日米開戦時の駐米大使で晩年は今、言ったように参議院議員をしておりました。

今話題の『坂の上の雲』での秋山真之が起草したという「皇国の興廃この一戦にあり」の日本海海戦にも従軍したという人で、その日露戦争は明治 38 年(1905 年)ロータリーが生まれた年であり日本はロシアと戦っているときにアメリカはシカゴでポールハリスらによってロータリーが産声をあげたという時代背景を参議院選挙という形で思い出しました。

このあと、クラブ協議会、米田ガバナーの名代としてお見えの塩路ガバナー補佐が、てぐすねをひいているかも、出席されます各委員長さんには『奮励努力』をお願いします。

7. 幹事報告 幹事 上野山 雅也 君
本日、例会の臨時変更等の報告はありません。
前年度に災害義捐金を贈った山口県防府市から、礼状が届きました。

8. 決算報告の承認 前年度幹事 寺下 卓 君

9. 予算案の審議 幹事 上野山 雅也 君

10. 閉会点鐘

次回例会

休会(祝日のため) 22 年 7 月 19 日(月)

第 1624 回例会 22 年 7 月 26 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30～

ガバナー公式訪問



ニコニコ・BOX

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 谷脇 良樹君 | クラブ協議会、よろしくお願ひします。 |
| 平尾 寧章君 | 塩路ガバナー補佐様、クラブ協議会、よろしくお願ひします。 |
| 花田 宗弘君 | ティアゴ君を連れて、富士山に登ってきました。 |
| 塩路 良一様
(ガバナー補佐) | 先日は例会終了後、ご馳走になり、有難うございました。 |

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか
- ②好意と友情を深められるか
- ③みんなに公平か
- ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 谷脇 良樹 幹事: 上野山 雅也 SAA: 三木 正博

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

クラブ協議会

2010-2011年度の活動計画について、ガバナー補佐の塩路 良一様を交え、各委員長と熱心に協議いたしました。



挨拶する ガバナー補佐 塩路 良一様

交換学生のティアゴ君が富士山登頂！

1年の日本留学生活を終える記念として、カウンセラーの花田さんが、ティアゴ君を連れて、7月10日に富士山へ登りました。「とても良い思い出になりました。皆さん有難うございます」花田さん、楠部さんには、ホームステイ等お世話になりました。



インドの遠隔地で医療使節団が大規模な奉仕活動

第3080地区のロータリアンのボランティアと医師、総勢37名の医療使節団が7日間、インドのマディヤ州にある遠隔地マンドラ地区を訪れ、約5万人を対象に大規模な医療奉仕活動を行いました。

この医療使節団は、ラジェンドラ K. サブ元 RI 会長と、インドの副法務次官で第3260地区の元ガバナーでもあるビベック・タンカさんが組織したもので、いくつかの仮診療所に分かれて、医療施設を利用できない人々に健康診断、歯科治療、外科手術を提供しました。使節団には24名の医師のほかに9名のボランティアと4名の医療助手が参加しました。サブ元会長は次のように話しています。「これは、医師たちが知識と才能のすべてを尽くして人々に奉仕する、職業奉仕の最も素晴らしい例ですね。医療を利用できない人たちに、医療を届けることができました」



サブ元会長は1998年以来、エチオピア、マダガスカル、マラウイ、ナイジェリア、スワジランド、ウガンダといった国々で多くの医療使節団を組織した経歴を持っていますが、今回の医療使節団は、それらのどれにも勝る多くの患者に奉仕の手を差し伸べる

ことができました。RAHAT(Rotary's Active Hands Are Touching)と名づけられたこのプロジェクトの実施地として、マディヤ州政府と協力してマンドラ地区を選んだのは、タンカさんでした。州政府は医療ボ



ランティア約400名にプロジェクトへの参加を依頼しましたが、この取り組みの規模はタンカさんの期待を大きく上回るものとなりました。「患者数、ロータリーと州政府から受けた支援、そしてロータリーのバナーの下でチーム全員が力を尽くす光景。どれをとっても私の期待と想像を超えるものでした。この使節団は、より健康な社会を目指す取り組みの完璧な見本です」とタンカさんは言います。仮診療所は医療の種類ごとに分けられ、マンドラ地区病院、カトラ病院、ヨギラジュ病院、地元の赤十字病院では、より多くの患者を治療できるよう、新しい医療機器などを取り入れて医療体制を改善することができました。この奉仕活動中、医師とボランティアによって3,500件の歯科治療が行われたほか、再建手術、整形手術、形成手術、眼科手術を含む2,000件の大手術が行われました。医療使節団団長で第3080地区元ガバナーであるスバッシュ・ガルグさんによると、これらの大手術の中には、子宮ガンの摘出手術や、105歳の男性の白内障手術もあったということです。

「使節団の活動が完了したとき、参加した人たちは心からの達成感にあふれかえりました」とガルグさん。「こんなに大きな貢献ができて、参加したロータリアンは本当にうれしく思っています」

ロータリー国連デーにご登録を

年に1度のロータリー国連デーが、11月6日(土)、ニューヨーク市の国連本部で開催されます。「ロータリーと国連：地域を育み、大陸をつなぐ」のテーマの下、国連、国際ロータリー、その他の機関のリーダーが丸1日の会議を開き、人道的問題や協力の機会について話し合います。国連へのRI代表が主催する今年のイベントでは、国連の上級スタッフやロータリーのリーダーによるプレゼンテーションのほか、保健、水、識字問題、青少年に関するパネル討論が行われます。インターアクターやロータリー青少年交換学生をはじめ、高校就学年齢の青少年も、午前中に行われる青少年対象の特別プログラムや、午後のその他のプログラムに出席することができます。昨年のロータリー国連デーには、46カ国から1,600人以上が出席しました。今年は会議スペースが縮小されたため、出席希望者は早期に登録することをお勧めします。登録をご希望の方は、所定の登録申込書を提出し、登録料をお支払いください。

